

令和6年2月吉日

さぎそう学舎世田谷区立八幡小学校
校長 峯岸 敦子 殿

学校関係者評価委員会

委員長 八尾 孝枝
委員 中嶋 猛夫
田部井 朝恵
岡 篤
吉岡 海果
(事務局)井下 玲生奈

令和5年度学校関係者評価結果報告書

今年度の「学校関係者等評価アンケート」の調査結果を調査・分析し、以下の通りまとめましたのでご報告いたします。

ご協力いただいた皆様に感謝いたしますとともに、本報告書をよりよき学校運営のための一助としてご活用いただき、八幡小学校が益々発展されますことを委員一同祈念いたします。

目次

- I. アンケート回収率 〈児童〉〈保護者〉〈地域〉
- II. アンケートについての学校関係者評価委員会の分析・聞き取り・所見
〈児童の評価〉〈保護者の評価〉〈地域の評価〉

※ 文中ではアンケート結果の「とても思う」・「思う」の回答を肯定的評価とし、「あまり思わない」・「思わない」の回答を否定的評価と表現する。

I. アンケート回収率

〈児童〉

	5年	6年
児童数	62	64
回収数	58	53
回収率	93.5%	82.8%

〈保護者〉

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
児童数	47	66	42	54	62	64	335
回収数	30	45	32	42	42	41	232
回収率	63.8% (82.2%)	68.2% (73.1%)	76.2% (74.0%)	77.8% (61.2%)	67.7% (49.2%)	64.1% (64.4%)	69.3% (66.6%)

()内は、前年度回収率

〈地域〉

配布数:45 回収数:23 回収率:51.1%

II. アンケートについての学校関係者評価委員会の分析・聞き取り・所見

【児童の評価】

1. 本校の学習について

おおむね良好である。「黒板の書き方やプリントなどを工夫している」が昨年度より低い。授業では板書・タブレットの併用はしているが、映像機器と比べ板書の訴求力が弱っている。学校では教師間の差異がなくなるよう板書の工夫をする取り組みはしているが、それが一部の児童には伝わっていない可能性がある。

2. 本校の生活指導について

5、6年生共におおむね肯定的評価で正直に自己理解した回答をしている。6年生は複数の先生が指導していることで、授業中も落ち着いて勉強ができるようになっていいると考えられる。

3. 本校の学校行事について

全体的に行事を楽しみにしているとの回答である。特に6年生が活躍した行事が多かった為、達成感があり高評価である。

4. キャリア教育について

キャリアパスポートの認識がまだ低く、年齢的にキャリアのイメージが掴めないで「あまり思わない」の回答が高いと判断する。今後も授業全体で取り組みを継続し、将来の目標が見つかる機会に触れさせてほしい。

「区立中学校に関する情報」についての肯定的評価は低い。八幡中学校との交流については情報提供をされている。昨年度と比べ交流の機会は増えたが、その機会として受け止めていない児童が多いものと考えられる。また、本校は私立中学校への進学率が高く、区立中学校への関心が低いことも要因として考えられる。

5. 本校の先生について

「丁寧に指導してくれる」と多くが回答している一方、親身になって相談できる場を設けてほしい。

6. 全般について

児童の8割以上が学校生活は「楽しい」と「好き」と回答しているのは素晴らしい。

「家庭で宿題や e-ラーニングでの学習をしている」の低評価は、昨年度と同じく学校では「e-ラーニング」の言葉を使用しておらず質問が分かりにくかったと判断する。児童は学校でも家庭でも「e-ラーニング」で学んでおり、実施状況は悪くないので継続していくことで定着することを期待する。

7. 八幡小独自項目

全体的に高評価である。学校側との認識も差異はなく、自己評価も高いのは実態に即している。タブレットの使用方法については、評価結果よりも正しく使われていない可能性があるため、専門家の話を聞く機会を設けるなど使用方法の指導が今後も重要である。

コロナ禍が明け、昨年度の盆踊りには過去最高の人数が集まった。今後もイベントが再開され「楽しみにしている地域の行事がある」の評価が更に高くなることを期待する。

【保護者の評価】

1. 本校の学習指導について

全般に高い水準である。「黒板の書き方やプリントの工夫している」について、否定的、「分からない」という意見が多いのは、板書やプリントを目にする機会が減っているのが理由と考えられる。高学年保護者に「映像やタブレットを工夫し分かりやすい授業をしている」の反応が鈍いのも、板書の工夫はされているものの評価に反映されていないのではと思われる。引き続き、板書の工夫にも力を入れていただきたい。

2. 本校の生活指導について

6年生の否定的回答が他学年と比較して多いのは、この学年の状況が影響しているものと思われる。保護者も問題を認識しており問題を共有していることは良いことなので、引き続き改善に努めてほしい。

3. 本校の学校行事について

学校全体で大変素晴らしい評価である。学校行事も増え児童が楽しんで活躍できる場が提供されていることがうかがえる。

4. キャリア教育について

「子どもの生き方や将来について考える授業をしている」に「分からない」の回答が多かった。活動自体は十分されており、キャリアパスポートを利用した取り組みなど保護者があるものの、質問事項と結びついておらず「キャリア教育」として保護者に認知されていないのではないかと懸念される。

提供する情報発信の仕方を工夫することで、保護者へ伝わるものとする。

5. 本校の先生について

約8割以上が肯定的評価で良好である。「相談しやすい」が比較的lowであるが、多忙な教職員の時間を配慮しての結果かもしれない。「すぐー」などで意見を伝えやすい窓口は開いており、対処しやすい環境は作られているので今後も双方向の円滑なコミュニケーションを図っていただきたい。

6. 全般について

全般的に本校の学校生活に満足している様子がうかがえる。「子どもにとって楽しい」の肯定的評価が全体的に多く素晴らしい。「家で自主的に勉強をしている」の評価が低いのは正直な回答である。

「学び舎」の言葉自体に馴染みが薄く、地域運営学校の内容や目的を知らない保護者が多いと思われる。継続的な情報提供を行うと共に、今後も幼稚園などと低学年の頃からの交流を進めてほしい。

体力の向上の評価は昨年度と同じく他項目と比べて低いが、今後も楽しみながら目標をもち、基礎体力をつける学ばせ方をお願いしたい。

7. 情報提供について

学校からの情報提供についてはおおむね高評価である。「学び舎」についての情報提供はされているが保護者の関心が低い為「あまり思わない」「分からない」の回答が多くなっている可能性がある。

8. 学校運営について

おおむね良好で評価が改善している。教職員への信頼も厚く、協力して学校運営に取り組んでいるのがうかがえる。

9. 学校と家庭の連携について

「学校行事、PTA や地域主催の行事などに協力している」の評価が低いのは、PTA の活動が縮小されている現状を反映しているものと判断する。「学校重点目標を伝えている」について、保護者会などで校長先生から具体的な説明があり改善はなされているものの、欠席した一部の保護者の意見を反映しているのではないかと推測される。

10. 地域との連携について

おおむね高評価である。昨年度より地域の行事や交流が増えて評価が高くなったものと思われる。来年度も引き続き地域との連携を取っていただきたい。

11. 学校の安全性について

全体的に良好である。「自然災害時の対応」の「あまり思わない」「分からない」の評価が比較的多いのは、避難所運営訓練に出席していない保護者が多く、知る機会があまりなかったものと思われる。

12. 八幡独自項目

(1)～(5)までは学校でも力を入れている項目で、朝会では挨拶や言葉遣いなど大切さの指導はしているので家庭でも同じように指導を継続することを期待したい。「タブレットやインターネットの正しい利用」について一部問題はあったが、全体的に親子の話し合いがなされている。使用状況を共有し、問題があった時には、より具体的に児童に注意できるような環境を整えることが必要である。

「盆踊りなどの行事が必要」も高評価ですばらしい結果となった。

【地域の評価】

1. 生活指導について

昨年と比べ回答率が上がった。9割以上が「とても思う」「思う」で、残り1割は「分からない」ことから通学路付近にお住まいではない方の回答と思われるので、否定的意見はほぼないと考えられる。

昨年度の地域の声に対する繰り返しの指導が功を奏したようである。

2. 学校行事について

肯定的意見多数で否定的意見はゼロ。昨年度と比較し「分からない」が減っている理由として、学校行事が増えて地域の方へお知らせを配布する機会も増加し関心も高まったと考えられる。

3. 学校からの情報提供について

「学び舎」の活動については「わからない」の回答が多い。学校のお知らせ(学校だより)は送っているが、「学び舎」自体になじみが薄いのではないかとも思われる。地域運営学校として八幡中学校とも連携し活動自体は十分行っているが、地域の方へのお知らせの仕方の工夫も今後必要である。

4. 学校運営について

特に問題なく、十分な結果である地域の人たちは学校の対応に満足していると判断する。

5. 地域との連携について

「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている」の肯定的評価が約5割だが、それらが数年活動しておらず、その役割も必要性も明確ではない為、実質形骸化されているので、この結果は妥当だと判断する。毎月の学校運営委員会だよりは周知されており、問題のない結果となっている。昨年の八幡小学校での盆踊りでは、児童も主体的にゲームコーナーを作ったことは地域との繋がりも持て大変喜ばしい。

6. 学校の安全性について

非常に良好。4年ぶりの避難所運営訓練も行われ、学校の安全に対する意識が高いことが分かる。

7. 八幡小独自項目について

挨拶についてはおおむね良好である。

「地域の方や企業の方が授業に参加していることを知っている」の「分からない」が約2割だった。やはたファームなど「地域の方」の参加については広く知られているが、「起業家教育」については不明な事やその取り組みの年月が浅く周知されていない事などが理由と思われる。今後の継続により浸透されることを期待する。